

入間市上下水道審議会における意見一覧表

No.	質問者	資料番号	意 見 内 容	対応課（担当）	回 答 内 容
1	市原委員	資料 2 （7 ページ）	新水道ビジョン進捗管理評価シート 下段 進捗及び評価 ・「これらの継続事業は、事業の終了年度に支出される（実績値が入る）ため、計画値との差異が大きくなっています」との記述があるが、どのロケーションも差があり過ぎると思います。これは、計画年度の見込み違いなのか、それとも毎回遅れるものなのか理由がわかりません。まさか、計画は着工ベース、実績は竣工ベースってことはないですよね？	水道施設課 （施設整備担当）	(差異)：継続事業（複数年で行う改修工事等）は、最終年度（工事が完了した年度）に支払う形となるため、数年かかる工事であっても支出実績は最終年度のみ実績を入れるため、このような表示方法となります。また、「鍵山浄水場」、「扇町屋配水場」、「入間台加圧場」においては2箇年継続から3箇年継続と延期をしております。延期理由は以下の通りです。 (工期延期理由)：コロナ禍（R2～R5.5月）における世界的な半導体・電子部品不足により改修工事を行うための各電気機器の生産・納期に時間（注文から納期まで最低1年以上を要する）を要することとなったため工事の工期を延長したことにより、計画年度を越す結果となりました。
		資料 4 （1 ページ）	下水道事業中長期経営計画進捗管理評価シート 汚水の改築事業費 進捗及び評価 ・「工事件数が増加したことや建設資材の高騰等の関係から、実績値が高いものとはなりましたが、計画どおり、下水道管路施設の適切な維持管理を図れたものと考えています」との記述があるが、実績値が上がっているのに、何をもって計画どおり適切な維持管理が図れたと言えるのか？根拠理由を記載すべきと考えます。	下水道施設課 （施設整備担当）	今回の評価結果において、計画値を実績値が上回った理由については、計画策定時において考慮していない、物価上昇による工事費用への影響や繰り越し工事2件の追加によるものが要因となっております。このため、実績値を主とした評価とはせずに、当初予定していた計画工事を全て年度内に終わることが出来た点を重視し、今期の評価については、計画どおり適正な維持管理が図れたと判断したものであります。 今後は、分かり易い表現を用いるなどし、作成に努めていきたいと考えております。